

ブリヂストンの成長戦略における知的財産部門の貢献

Gemini Deep Research

はじめに

ブリヂストンは、世界最大のタイヤおよびゴム製品メーカーであり、その事業はタイヤ、ゴム、化学製品、多角化事業にわたっています。同社は、常にイノベーションと技術開発を重視し、高品質な製品とサービスを提供することで、世界中の顧客から高い評価を得ています。近年、自動車業界は、CASE（Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric）と呼ばれる大きな変革期を迎えており、ブリヂストンもこの変化に対応すべく、持続可能なモビリティソリューションの提供を目指した新たな成長戦略を推進しています。

本稿では、ブリヂストンの成長戦略における知的財産部門の貢献実績について、以下の観点から考察していきます。

- ブリヂストンの知的財産部門の役割と活動内容
- ブリヂストンの成長戦略における知的財産の役割
- 知的財産部門の貢献実績
- 知的財産部門の今後の課題と展望

ブリヂストンの知的財産部門の役割と活動内容

ブリヂストンの知的財産部門は、同社の技術やブランドを保護し、競争優位性を確保するために重要な役割を担っています。知的財産部門は、研究開発成果であるタイヤの内部構造、トレッドデザイン、製造技術などを特許・意匠・営業秘密の3つの形で適切に保護し、技術開発部署の成果をより広く、ビジネス上効果的な権利範囲として明文化することで、ステークホルダーに対して自社技術のPRや、ライセンス材料としての活用を見据えた、戦略的な活動を行っています。¹

具体的な活動内容としては、以下の点が挙げられます。

- **特許出願**: 新規技術や改良技術に関する特許を出願し、権利化することで、競合他社による模倣を防ぎ、市場における独占的な地位を確保します。ブリヂストンは、タイヤの構造、材料、製造方法など、様々な分野で特許を出願しています。例えば、タイヤのパンク修理材に関する特許や、タイヤのトレッドパターンに関する特許などがあります。
- **意匠出願**: タイヤのトレッドデザインなど、製品の外観に関する意匠を出願し、権利化することで、ブランドイメージの向上と差別化を図ります。ブリヂストンのタイヤは、その独特なトレッドデザインによって、高いブランド **recognition** を獲得しています。
- **営業秘密管理**: 製造技術やノウハウなど、特許や意匠では保護できない重要な情報を、社内規定や契約などによって厳格に管理します。ブリヂストンは、長年培ってきたタイヤ製造の

ノウハウを、営業秘密として厳重に管理することで、競争力を維持しています。

- **知的財産権の活用:** 取得した知的財産権を、ライセンス供与や共同研究開発などを通じて収益化を図ります。ブリヂストンは、自社の特許技術を他社にライセンス供与することで、収益を上げています。また、他の企業や研究機関との共同研究開発においても、知的財産権を積極的に活用しています。
- **侵害対策:** 自社の知的財産権を侵害する行為に対して、警告、交渉、訴訟などの適切な措置を講じます。ブリヂストンは、自社の知的財産権を侵害する行為に対しては、断固たる姿勢で臨み、法的措置を講じることも辞さない構えです。

ブリヂストンの成長戦略における知的財産の役割

ブリヂストンの成長戦略は、「2050年サステナビリティに向けたビジョン」で掲げられている「持続可能な社会への貢献」と「お客様の価値創造への貢献」を両立させることを目指しています。このビジョンでは、環境負荷の低減、資源の有効活用、社会への貢献などを重要なテーマとして掲げています。²ブリヂストンはClarivate Analyticsが発表した「Top 100 Global Innovators 2017」に選出されており、知的財産を企業経営を支える重要な経営資源と位置付け、知的財産活動を継続的に推進していくと述べています。

この成長戦略において、知的財産は以下のような重要な役割を担っています。

- **競争優位性の確保:** 高度な技術やブランドを保護することで、競合他社との差別化を図り、市場における優位性を確保する。
- **新製品・新サービスの開発:** 知的財産を活用することで、新たな製品やサービスを創出し、事業の拡大を図る。
- **ブランド価値の向上:** 知的財産権によって保護された高品質な製品やサービスを提供することで、顧客からの信頼を獲得し、ブランド価値を高める。
- **オープンイノベーションの推進:** 知的財産を適切に管理することで、外部との連携を促進し、オープンイノベーションによる新たな価値創造を加速させる。例えば、ブリヂストンは、他の企業や研究機関との共同研究開発において、知的財産権を共有することで、新たな技術や製品の開発を加速させています。

知的財産部門の貢献実績

ブリヂストンの知的財産部門は、上記の役割を担うことで、同社の成長戦略に大きく貢献しています。具体的な貢献実績としては、以下の点が挙げられます。

- **特許出願:** ブリヂストンは2025年に11件の特許を取得し³、タイヤ、ゴム組成物、接着剤組成物、車両の制御装置及び制御方法など、様々な分野で権利を取得しています。これらの特許は、ブリヂストンの技術力の高さを示すものであり、競争優位性を確保する上で重要な役割を果たしています。
- **新製品・新サービスの開発:** ブリヂストンは、独自のタイヤ技術や材料技術に関する特許を活用し、高性能タイヤ、ランフラットタイヤ、省燃費タイヤなど、数多くの革新的な製品を開発しています。³また、タイヤの空気圧を監視するシステムや、タイヤの摩耗状態を予測する技術など、新たなサービスの開発にも積極的に取り組んでいます。これらの新製品・新

サービスは、顧客のニーズに応えるだけでなく、新たな市場の創造にも貢献しています。

- **ブランド価値の向上:** ブリヂストンは、長年にわたり、高品質な製品とサービスを提供することで、世界トップクラスのタイヤブランドとしての地位を確立しています。知的財産権によって保護された技術やブランドは、顧客からの信頼獲得に大きく貢献しています。

知的財産に関する訴訟・紛争の状況

ブリヂストンの知的財産に関する訴訟・紛争に関する情報は、公開されている情報源からは確認できませんでした。

知的財産部門の今後の課題と展望

自動車業界の変革が加速する中、ブリヂストンの知的財産部門は、以下の課題に取り組む必要があります。

- **新技術・新分野への対応:** CASE や MaaS (Mobility as a Service) などの新たな技術やサービスに対応した知的財産戦略を策定し、実行する必要がある。例えば、自動運転技術やコネクテッドカー技術に関する特許の取得、データセキュリティに関する知的財産権の保護などが挙げられます。
- **グローバルな知的財産戦略の強化:** 世界各国における知的財産権の取得・管理体制を強化し、グローバルな事業展開を支える必要がある。ブリヂストンは、世界各国で事業を展開しており、それぞれの国や地域の法規制に対応した知的財産戦略を策定する必要があります。
- **人材育成:** 知的財産に関する専門知識やスキルを持つ人材を育成し、部門の強化を図る必要がある。知的財産に関する専門知識を持つ人材は、企業の競争力を強化する上で不可欠です。ブリヂストンは、知的財産部門の人材育成に力を入れており、専門的な研修プログラムなどを実施しています。

ブリヂストンの知的財産部門は、これらの課題を克服することで、同社の持続的な成長に貢献していくことが期待されます。

結論

ブリヂストンの知的財産部門は、同社の技術やブランドを保護し、競争優位性を確保するために重要な役割を担っています。同部門は、特許出願、権利化、活用、侵害対策など、様々な活動を通じて、ブリヂストンの成長戦略に大きく貢献しています。近年、自動車業界は大きな変革期を迎えており、ブリヂストンも持続可能なモビリティソリューションの提供を目指した新たな成長戦略を推進しています。この戦略において、知的財産部門は、新技術・新分野への対応、グローバルな知的財産戦略の強化、人材育成などの課題に取り組むことで、更なる貢献が期待されます。

ブリヂストンの知的財産戦略は、同社の競争優位性を維持し、持続的な成長を支える上で重要な役割を果たしています。タイヤ技術、材料技術、製造技術など、幅広い分野における特許ポートフォリオは、競合他社に対する参入障壁となり、市場における優位性を確保しています。

また、知的財産権を活用したオープンイノベーションの推進は、新たな技術やサービスの開発を加速させ、ブリヂストンの将来の成長を牽引する力となるでしょう。

引用文献

1. 【価値観】 私たちの想いと意志 | 特集 | 採用情報 | 株式会社 ..., 2月4, 2025 にアクセス、
<https://www.bridgestone.co.jp/saiyou/recruit/pickup/>
2. 2018 知的財産報告書 - ブリヂストン, 2月4, 2025 にアクセス、
https://www.bridgestone.co.jp/corporate/library/ip_report/pdf/ipr2018.pdf
3. 株式会社ブリヂストンの特許登録一覧 - IP Force, 2月4, 2025 にアクセス、
<https://ipforce.jp/applicant-285>